

すこやか

発行者：姉ヶ崎ケアセンター
住所：千葉県市原市稚津2545-1
電話：0436(66)8867
担当者：堀川・上田・宮本・
金城・岡

みんなで熱唱 11月の誕生会

11月6日、お誕生会を開催しました。今回は、ボランティアの「さざなみ会」の皆様に歌と踊りを披露していただきました。次々と繰り出される出し物に利用者様たちは喜ばれていました。途中、スタッフが飛び入りで参加する場面もあり、とても楽しい時間となりました。



岸壁の母の熱唱に涙する場面も



新就任の職員紹介

介護福祉士 I Y

私なりの信念を持ち、利用者様のために、日々努力して参りたいと思います。



デイケアルームより

園芸療法について

今月から園芸療法として家庭菜園を始めました。

園芸療法とは、野菜作りや花を育てるといった植物を育てる園芸作業を行う事で、「認知症の予防・改善」「生活の質の維持・向上」「精神面の安定化」を目標とする認知機能向上に役立つリハビリの一種です。

過去に行っていた家庭菜園を思い出しながら、満足感と喜びを感じて頂いております。



誕生会

12月4日(水) 14時30分

5階ダイアールーム

ナツメロ会の皆様にお越しいただけます。

1月8日(水) 14時30分

5階ダイアールーム

琴の音の皆様にお越しいただきます。

職員のひとり言

「犬との生活」

看護師 M Y



子育てが完全に終わり、空の巣症候群になりそうになった時に娘が犬をプレゼント。子供が巣立った後、どういふ風に生きていけばいいか悩んで何年も経ってからのことでした。ペットショップに行きいろんな犬を抱っこさせられました。全く犬を飼うつもりのない私でしたが、動物好きのこともあり、言われるがままに抱っこしていました。

一年近く娘と出掛けるたびに繰り返して抱っこしていたら、ある日娘と母とで、この子なら合うという犬を見つけて買ってきてくれました。顔の真黒な愛嬌のある子で「この子」って思ってしまった。

それから毎日が楽しい時間の始まりとなりました。働いて稼いで、この子との楽しい時間を作ることが生き甲斐となっていきました。帰りの車の中で、この子と食べるご飯を考えながら帰る毎日ですがとても楽しいです。待つてくれる者のいる生活、本当に人生に色がついた瞬間でした。

厚労省「認知症施策推進大綱」を読んで思うこと 姉崎病院 院長 岡 賢了

今年の我が国の人口は 12,617 万人、そのうち 65 才以上の人口は 3,588 万人、高齢者が総人口と占める割合は 28.4%です。因みに中国は 11.5%、アメリカは 16.2%です。また、日本の将来推計人口によると 2025 年には高齢者数は 3,677 万人で 30%を占めることになり、そのうち認知症患者は 700 万人と推計されています。

介護保険サービスの利用者は 18 年 4 月 644 万人、その 1 位は認知症かつ要介護認定者です。そこで政府は去る 2019 年 6 月 18 日、「認知症施策推進大綱」を作成公表しました。今までは「共生」、つまり認知症の人が住み慣れた地域で尊厳を持って生きてゆく社会の実現という施策目標でしたが、この度「共生」に「予防」を加えて取り組むことを打ち出しました。

この序説を書いて私は非常に空しい思いを致します。認知症の数は 2012 年で 462 万人、MCI (軽度認知障害者) は 400 万人と推定されています。これだけの多い数の疾病は他には無いのではないかと思います。しかし認知症に取り組んでくれる人材が足りません。医師にとっても認知症の入り口は面白みがないように思える様です。

私も在宅医療に携わる様になり、往診した家で農家の北側の窓もない、引き戸が開ける事が出来ないように「つかえ棒」のついた暗い部屋で寝ている老人を診て、はじめて認知症を診て行かねばならない状況かと思いました。まして介護の専門職であっても大変な仕事で、思うようなアウトカム (成果) の出ない仕事なのです。

また、認知症施策推進大綱の「予防」についての基本となる「コホート」母集団の資料も、九州大学の久山町研究の限定したデータしかありません。余談かも知れませんが、この厚生省のデータで興味があった事に、糖尿病有病率の増加により 2025 年には 20.6%増加の 730 万人と仮定しています。

さて「予防」には大変な数の人的資源が要ります。幅広い職種の人、医師、看護師、介護士、ケアマネジャー、民生委員、介護タクシー運転手など。認知症施策推進大綱では認知症サポーターの育成目標は 1200 万人としています。この数をどのようにして整えるのかも心配です。

認知症施策推進大綱の目標は、①普及啓蒙、本人発信支援、②予防、③支援、④バリアフリー、⑤研究開発でそれぞれ細目が挙げられています。

②の予防の細目には、「通いの場」の活用として運動不足の改善、生活習慣病の予防、社会的孤立の解消により、高齢者が身近に通える場を拡充する場を作り参加することで、2017 年度 4.9%の参加率を 8%に高めるとしています。

⑤の研究開発の費用ですが、アメリカとの認知症に関する研究費の比較を見ますと、トランプ大統領でさえ年間 2,600 億円を投資しているのに、日本は「日本医療研究開発機構研究費用」として 116 億円 (2019 年度概算要求) のその中の、認知症臨床研究費 23.3 億円、認知症政策研究費に至っては 1 億円ですから、「予防」の成果には厳しいものです。

私は高齢者が地域で適切な医療を受けながら生活していくことを目標として、平成 12 年の介護保険制定前から姉崎病院認知症外来を開設し、姉ヶ崎ケアセンターには認知症専門フロア 50 床を開設しました。

認知症サポート医としても千葉県医師会の講演会を開催し、抗認知症薬「メマリー」の治験にも参加させて頂きました。千葉県では最初に訪問看護ステーションを開設して認知症の「共生」のために一番大切な「認知症サポーター」の養成に取り組んできました。

この度、有秋台団地内にサービス付き高齢者向け住宅『シニアハイツ有秋台』を開設し、「オレンジカフェ (認知症カフェ) 有秋台」を始めました。「オレンジカフェ有秋台」は食事を袖ヶ浦市の「のうえんカフェ」にご協力いただき、認知症だけでなく医療介護に関するトピックを講演して頂いておりますし、演奏会や体操教室なども企画運営しております。

現実には、認知症が多くの人にとって身近なものになってきています。そのような認識の上で、「70 歳での発症を 1 歳遅らせる」という非常に暖かい指標に込めた厚労省の「オレンジリングドレスアップ」に大きな期待を込めて大綱の成果を見守りたいと思います。

最後に認知症に関わる皆様の献身的なご尽力に感謝申し上げますとともに、今後ともご協力を賜ります様宜しくお願い申し上げます。

《お問い合わせ》



◆ 姉崎病院 認知症外来

0436-66-1161

平日 9:00~17:00 (土日祝休み)

外来開設日 月曜日 (祝日を除く) 9:00~11:00

◆ 姉ヶ崎ケアセンター 認知症療養フロア

0436-66-8867

平日 9:00~17:00 (土日祝休み)

◆ オレンジカフェ有秋台

0436-66-8765

9:00~17:00 (年中無休)

オレンジカフェ開設日

毎月第 2、第 4 木曜日 12:00~15:00